

平成31年度

2年次(現1年次)

商学部ゼミナールⅠ紹介誌

経営管理学系

九州産業大学 商学部

経営・流通学科

## ゼミナールの履修について

### I. ゼミナールとは

- ゼミナールとは、指導教員の専門分野を少人数で学習する授業です。
- 具体的な学習内容は、プレゼンテーション、特定のテーマについての研究、専門書の輪読、グループ討論などです。ゼミナールによって学習内容は異なりますので、詳細はゼミナール紹介誌を読んでください。

### II. 2年次以降のゼミナール

- 2年次：ゼミナールⅠ（通年4単位）
- 3年次：ゼミナールⅡ（通年4単位）
- 4年次：卒業論文ゼミナール（通年8単位）

### III. ゼミナールの履修に関する注意事項

- ゼミナールは自身が所属する学系内のゼミナールのみエントリーが可能です。
- ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、卒業論文ゼミナールは全員履修科目であり、必ず履修する必要があります。
- 1ゼミナールあたりの人数は8~20名程度です。
- ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡは選考があるため、必ず希望するゼミナールに所属できるとは限りません。
- 4年次の卒業論文ゼミナールは、ゼミナールⅡの担当教員が受け持つことになっています。
- 4年次の卒業論文の単位を取得するためには、決められた期間内に卒業論文を提出しなくてはなりません。

## ゼミナール募集説明会について

### 商学部ゼミナールⅠ 募集個別説明会

場所: 1号館 6階演習室もしくは 8,10階研究室

学 系	コ ー ス	教員名	11月19日		11月20日		11月21日		11月22日		11月23日	
			月		火		水		木		金	
			場所	時間	場所	時間	場所	時間	場所	時間	場所	時間
経営 管理	企業 経営	安(熙)	オフィスアワー (木・10:40~12:10) にS015研究室にて対応									
		宇山	-	-	-	-	-	-	-	N010研究室	昼休み	
		浦野	オフィスアワー (火・14:40~16:10) にS005研究室にて対応									
		間間	-	-	N606	昼休み	N606	昼休み	N606	昼休み	N606	昼休み
		菊池	-	-	N005研究室	昼休み	-	-	-	-	-	-
		木村	-	-	N008研究室	昼休み	-	-	-	-	-	-
		原	オフィスアワー (月・13:00~14:30) にS011研究室にて対応									
	松尾	S010研究室	昼休み	-	-	S010研究室	昼休み	-	-	S010研究室	昼休み	
	フ ァ イ ナ ン ス	高山	-	-	-	-	-	-	-	-	N601	昼休み
		新田町	N822研究室	昼休み	-	-	N822研究室	昼休み	N822研究室	昼休み	-	-
		船岡	-	-	N607	昼休み	-	-	-	N607	昼休み	
		牟田	オフィスアワー (木・12:10~13:00) にS804研究室にて対応									
	会 計	赤城	-	-	N601	昼休み	-	-	N601	昼休み	-	-
		浅川	N601	昼休み	-	-	N601	昼休み	-	-	-	-
		安(珠)	-	-	S004研究室	12:15~12:50	-	-	-	-	-	-
		魏	オフィスアワー (木・10:40~12:10) にN006研究室にて対応									
		奥園	オフィスアワー (金・16:20~17:50) にN012研究室にて対応									
		金川	-	-	S001研究室	12:15~12:50	-	-	-	-	-	-
田中	-	-	S009研究室	15:00~16:30	S009研究室	10:30~12:00	S009研究室	10:30~12:00	S009研究室	10:30~12:00	-	

## ゼミナール選考の流れ

### **【 1 次 募 集 】**

#### **■ 11月19日(月)～23日(金)：ゼミ個別説明会と「選考詳細」掲示**

- ゼミナール紹介誌をよく読んで、希望するゼミナールの個別説明会に参加して下さい。
- 選考についてゼミナール担当教員から個別に詳細な指示（「選考詳細」）がある場合は、11月19日以降、8階と10階の各教員の研究室の扉に掲示します。自分が希望するゼミナール担当教員の掲示を必ず確認して、その指示に従って下さい。

#### **■ 11月28日(水)～30日(金)：エントリーシート提出期間**

- K's Life または 1号館 10階の商学部事務室前（または渡り廊下）にある箱からエントリーシートを入手し、エントリーシートを作成して下さい。
- 11月27日までに8階と10階の各教員の研究室の扉に「面接時間予約表」を掲示します。
- エントリーシートには、各教員の面接時間予約表に記載されている「面接時間予約番号」を必ず記載して提出して下さい。
- 作成したエントリーシートは、11月28日～30日の期間内に以下の場所に設置してあるエントリーシート投函箱へ提出して下さい。

1号館 10階 商学部事務室前 受付時間 09:00～17:00

- 2つ以上のゼミナールにエントリーシートを提出した場合、すべて無効とします。このルールは2次・3次募集の時も適用します。

#### **■ 12月4日(火)～10日(月)：面接日と結果発表および2次募集の有無の発表**

- 面接は上記の期間に教員の指示する方法で行われます。
- 1次選考の結果は、12月11日までに各教員の研究室の扉に掲示されます。同時に、その教員が2次募集を行うか否かが掲示されます。2次募集を希望する学生は教員が2次募集を行うか事前に確認しておいてください。

### **【 2 次 募 集 】**

#### **■ 12月12日(水)～14日(金)：エントリーシート提出期間と「選考詳細」掲示**

- K's Life または 1号館 10階の商学部事務室前（または渡り廊下）にある箱からエントリーシートを入手し、エントリーシートを作成して下さい。
- 作成したエントリーシートは、12月17日～21日の期間内に以下の場所に設置してあるエントリーシート投函箱へ提出して下さい。

1号館 10階 商学部事務室前 受付時間 09:00～17:00

- 選考についてゼミナール担当教員から個別に詳細な指示（「選考詳細」）がある場合は、12月11日以降、8階と10階の各教員の研究室の扉に掲示します。自分が希望するゼミナール担当教員の掲示を必ず確認して、その指示に従ってください。
- 12月11日に8階と10階の各教員の研究室の扉に2次募集用「面接時間予約表」を掲示します。
- エントリーシートには、各教員の面接時間予約表に記載されている「面接時間予約番号」を必ず記載して提出してください。

### ■12月17日(月)～21日(金)：面接日と結果発表および3次募集の有無の発表

- 面接は上記の期間に教員の指示する方法で行われます。
- 2次選考の結果は、12月21日までに教員の研究室の扉に掲示されます。同時に、その教員が3次募集を行うか否かが掲示されます。3次募集を希望する学生は、その希望するゼミナールの担当教員が3次募集を行うか事前に確認しておいてください。

## 【 3 次 募 集 】

### ※※※※※※※※※ 3次募集について ※※※※※※※※※

3次募集については、2次募集までの状況を判断して、臨機応変に対応します。そのため2次募集でもゼミが確定していない学生は、2次募集以降に発表される3次募集のアナウンスに十分に注意して、従ってください。

ゼミナール選考の日程（1次・2次のみ）

2018年11月・12月						
月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
紹介誌配布	←		コース入門ゼミナールにてゼミ説明			
12	13	14	15	16	17	18
→						
19	20	21	22	23	24	25
← ゼミナール個別説明会（詳しくは別紙参照） →						
26	27	28	29	30	12/1	2
		← 1次E S 提出		→		
3	4	5	6	7	8	9
	← 1次面接					
10	11	12	13	14	15	16
→	1次 合格発表	← 2次E S 提出		→		
17	18	19	20	21	22	23
← 2次面接（2次合格発表） →						
24	25	26	27	28	29	30
12月22日～1月6日 冬季休業						
31						



# 目 次

## <商学部 経営・流通学科 ゼミナール I > (50 音順)

### 経営管理学系

#### 企業経営コース

➤ 安(熙) ゼミナール	1
➤ 宇 山 ゼミナール	2
➤ 浦 野 ゼミナール	3
➤ 聞 間 ゼミナール	4
➤ 菊 池 ゼミナール	5
➤ 木 村 ゼミナール	6
➤ 原 ゼミナール	7
➤ 松 尾 ゼミナール	8

#### ファイナンスコース

➤ 高 山 ゼミナール	9
➤ 新田町ゼミナール	10
➤ 船 岡 ゼミナール	11
➤ 牟 田 ゼミナール	12

#### 会計コース

➤ 赤 城 ゼミナール	13
➤ 浅 川 ゼミナール	14
➤ 安(珠) ゼミナール	15
➤ 魏 ゼミナール	16
➤ 奥 園 ゼミナール	17
➤ 金 川 ゼミナール	18
➤ 田 中 ゼミナール	19

<b>ゼミナール名： 安 熙卓ゼミナール I</b>	
<b>演習テーマ： 現代の社会・労働問題を考える</b>	
<b>担当教員名： 安 熙卓</b>	<b>主な担当科目： 人的資源管理論、労使関係論</b>
<b>所属学系： 経営管理学系</b>	<b>所属コース： 企業経営コース</b>
<p><b>●ゼミナールの紹介</b></p> <p>このゼミでは、コミュニケーション能力を高めるためのディベートと現代の社会・労働問題について課題研究を行います。ゼミの進め方は、基本的にゼミ生自身が主体となり、テーマについて調べ、討論・報告する形式で行います。皆さんにとって就職はまだ先のことですが、大学で何をしたか、なかでもゼミでどんなことを学んだかを面接で聞かれることが多いと思います。それは面接の担当者が大学のゼミで実際勉強した体験があるからでしょう。このゼミは、将来、就職活動に役立てることを目標とします。</p> <p><b>●ゼミ計画</b></p> <p><b>前期：ディベート対決</b></p> <p>日本人は公的な場で議論することを避ける風潮が強く、自己アピールも外国人に比べて苦手であるといわれています。また、今の若者はコミュニケーション能力が非常に劣っているという指摘があります。ディベートとは、あるテーマについて肯定側と否定側に分かれて議論をし、どちらの側が説得力のある主張をすることができたかを競うものです。このディベートは、相手の話を聞く力や相手の意見を踏まえて自分の意見をまとめて話す力を養うことを目的としています。</p> <p><b>後期：課題研究</b></p> <p>最近、格差社会がマスコミで取り上げられているように、いつたん社会に出れば企業も個人も厳しい競争に勝ち残っていかなければならない状況にあります。かつてのように大卒で入社すれば終身雇用と年功賃金制度のもとで昇給・昇進によって安定した地位と収入が約束されていた時代は過去のものになりつつあります。成果主義の導入と雇用の流動化に伴って正社員が減り、それに替わって非正社員が増大し、所得の二極化が進んでいます。ここでは、現代の社会・労働問題に関するテーマでグループワークを行い、プレゼンテーションを行ってもらいます。人の前に立って話すのが苦手な人は、プレゼンを通じて成長することが期待されます。</p> <p><b>●行事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミ員相互の親睦を図るためのコンパ</li> <li>・韓国・梨花女子大学学生との国際交流(7月、11月)</li> </ul> <p><b>履修希望者への要望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人的資源管理論を必ず履修すること。</li> <li>・社会的で明るく元気があること</li> <li>・勉学意欲が高いこと</li> <li>・韓国の学生との交流に積極的に参加できること</li> </ul>	

ゼミナール名： 宇山ゼミナール I	
演習テーマ：ものづくり企業の調査	
担当教員名：宇山 通	主な担当科目：生産管理論
所属学系： 経営管理学系	所属コース： 企業経営コース
<p>ゼミナールの紹介(予定)</p> <p><b>【前期】</b></p> <p>① ものづくりに関わる業種を“リスト(※)”のなかから1つ選びます。(また選んだ業種が似通った学生同士でグループを作成します。)</p> <p>↓</p> <p>② 選んだ業種について、過去15年程の動向(≒成長しているのか、変化がないのか、衰退しているのか)を、グラフ(※)で示します。</p> <p>↓</p> <p>③ 選んだ業種の企業に、インタビューや工場見学(※)に行きます。</p> <p>↓</p> <p>④ ②③をもとにレポート(※)を作成します。</p> <p><b>【後期】</b></p> <p>① ④をもとにプレゼンのテーマを決めます。</p> <p>↓</p> <p>② ①のテーマの調べ方を決めます。</p> <p>↓</p> <p>③ グループごとにプレゼンに向けて準備を進めます。(新たにインタビューにいたり、雑誌記事を調べたりと、グループごとに活動内容は異なります。)</p> <p>↓</p> <p>④ プレゼンをし、1年間の活動を自分達で評価します。</p> <p><b>(※) 11月23日(金)お昼休みの個別説明会でお話しします。</b></p>	
<p>履修希望者への要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動が好きで、工場見学等をするのが好きな学生に向いています。</li> <li>・面接当日までの平均出席率が80%を下回る学生は受講できません。</li> </ul>	

<b>ゼミナール名:</b> 浦野ゼミナール I	
<b>演習テーマ:</b> コーポレート・ガバナンスから学ぶ「仕事」と「会社」	
<b>担当教員名:</b> 浦野 倫平(うらの のりひら)	<b>主な担当科目:</b> 経営実践入門、経営実践演習
<b>所属学系:</b> 経営管理学系	<b>所属コース:</b> 企業経営コース
<p><b>ゼミナールの紹介</b></p> <p>①演習テーマの学習を通して、ゼミ生全員が IT 革命の時代の流れを見通し、それに適応したそれぞれのキャリアパス（仕事、会社の選択を中心とした人生形成）を完成させることを目標としている。</p> <p>②演習は、こちらから資料を配布し、それぞれ発表担当箇所を割り振って、各自レジュメを作成の上発表する形式で進めていく。</p> <p>③ゼミは例年、12 名程度の適度な規模となっている。今年もその水準を維持したい。</p>	
<p><b>履修希望者への要望</b></p> <p>①浦野ゼミで学びたいという意思を確認の上、応募すること。</p> <p>②無断欠席、遅刻はありえない。そのことをあらかじめ承知しておくこと。</p>	

<b>ゼミナール名： 聞間ゼミナール I</b>	
<b>演習テーマ： 経営・経済・社会にある重たい問題を深く考える力をつける</b>	
<b>担当教員名： 聞間 理</b>	<b>主な担当科目： 事業開発論</b>
<b>所属学系： 経営管理学系</b>	<b>所属コース： 企業経営コース</b>
<p><b>ゼミナールの紹介</b></p> <p>これからの時代は、いろいろな問題がたくさん起きて、どんな考え方が正しいのか、どのように生きれば幸せなのか、がよくわからなくなってくる時代になると考えています。</p> <p>聞間ゼミナール I では、そのような「重たい」問題をじっくりと考えることをします。</p> <p>それを通じて、より広く・高い視点に立って世の中を眺めることのできる人になるための機会を提供したいと考えています。</p> <p>進め方として、扱うテーマに関する本を読む（月一冊ほど）。それに関する問題について議論する。議論が噛み合うようにレゴシリアスプレイというレゴ・ブロックを使ったワークショップ手法を使う予定です。</p> <p>&lt; 予定しているテーマ（一ヶ月で1つのテーマを扱うペースで進む） &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何のために働くのか（インターンシップとも絡める）。</li> <li>・自由の範囲を決めるにはどうしたらいいか。</li> <li>・どうしたら全ての人が幸福になれるのか。</li> <li>・社会の中の貧困をどのように扱えばよいか。</li> <li>・地球規模の問題にどう向き合えばよいか（SDGsとも絡める）。</li> <li>・芸術は全ての人に必要か。</li> </ul> <p>聞間ゼミでは毎年、福岡大学のゼミと合同でプロジェクト（福岡市子供未来局主催の「夢チャレンジ大学」）に取り組んでいます。このプロジェクトは中高生を対象としてこれからの人材に必要な資質を考え教えるプログラムです。例年、5～9月に行われており、学生たちが土日も含めて、かなりの熱量をもって取り組んでいます。九産大からの参加者は Web ビデオミーティングなども駆使して参加します。大変ですが、かなりの力がつく取り組みです。こちらへの参加も推奨しています。</p>	
<p><b>履修希望者への要望</b></p> <p>ゼミ選考を受けるにあたっては、まず、「何のために働くのか」を考えるための本を一冊選び、読んでください。</p> <p>選考では、私から、その本の内容についての質問をします。これは、何かに向けて自分の意思で準備する力と本を読む力がどのくらいあるかを測ることを目的としています。大学1年時後半では、「指示が出るまで勉強しなくてもいい」という気持ちを捨てて、「大学という貴重な期間を最大限に活かし、成長するために学ぶ」という気持ちを持つようになっていくべきです。</p> <p>また、「夢チャレンジ大学」への参加希望者は、他の希望者よりも優先してゼミに入れたいと考えています。</p>	

<b>ゼミナール名:</b> 菊池ゼミナール I	
<b>演習テーマ:</b> いい会社とは: 経営管理論、経営戦略論から考える	
<b>担当教員名:</b> 菊池 英貴	<b>主な担当科目:</b> 経営管理論史、経営管理論
<b>所属学系:</b> 経営管理学系	<b>所属コース:</b> 企業経営コース
<p><b>ゼミナールの紹介</b></p> <p>本ゼミでは、「<u>いい（良い・善い）会社とはどんな会社</u>」という観点から、経営管理や経営戦略の理論をもとに研究します。企業に関するニュースなどに関心を持ち、その現象が経営の理論的にはどう解釈できるのか考えます。そこで、経営に関する文献などで基礎を理解し、そして、現代企業の問題を考えていきます。そのために、新聞記事などを調べ、発表してもらいます。まず、株式会社の生成やビッグ・ビジネス誕生の歴史について参考図書をもとに調べます。そうした経営が今日の企業経営にどのような影響を及ぼしてきたかを調べ、経営に関する理論の基礎を理解していきます。また、理論だけでなく普段から企業経営に関わる様々なニュースに関心を持つことが必要です。</p> <p>取り上げる事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本に株式会社や銀行を普及させた<b>渋沢栄一</b>について（みずほ銀行、東洋紡、王子製紙など 500 以上の会社設立にかかわった）</li> <li>・現在でも世界のトップに君臨する企業を興した<b>ロックフェラー</b></li> <li>・<b>宅急便事業</b>の誕生について（ヤマト運輸がなぜ宅急便をはじめたか）</li> <li>・米国自動車産業の創成期の競争戦略（<b>フォード社・GM 社</b>） など</li> </ul> <p>これらの事例を調査・発表し、経営に関する基礎的理論を理解していきます。</p> <p>「いい経営(業績)」の会社、さらに、働く人にとって「いい会社」(働きやすい、やる気が出る)とはどんな会社かという観点から考えていきます。</p> <p>日々発生する企業に関するニュースについて調査・報告してもらいます。 発表会などにも積極的に参加してもらいます。 単位取得のためではなく、就職活動などで「これを研究した」といえるようになることを目指します。</p>	
<p><b>履修希望者への要望</b></p> <p>必ず提出課題をしてくること。学習意欲の高いこと。本を読んでまとめることが好きなひと。欠席・遅刻を絶対しないこと。バイト・クラブを優先する人は遠慮してください。病気などで休む時は必ず連絡すること。<b>経営管理論史・経営管理論を必ずまじめに受講</b>すること。生徒ではなく学生として受講できる人を希望。率先してゼミ活動に参加すること。</p>	

<b>ゼミナール名:</b> 木村ゼミナール I	
<b>演習テーマ:</b> 社会的課題に誘発されたビジネスの創発	
<b>担当教員名:</b> 木村隆之	<b>主な担当科目:</b> 中小企業論、ベンチャービジネス論
<b>所属学系:</b> 経営管理学系	<b>所属コース:</b> 企業経営コース
<p><b>ゼミナールの紹介</b></p> <p>地域課題や社会課題をビジネスを通じて解決する「社会企業家」について学ぶゼミナールです。履修生自らが、何らかの社会的課題を発見し、その解決方法について考え、ビジネスを通じて如何に貢献することができるかを考えるゼミナールです。</p> <p>それらの活動をグループで行い、その内容を発表としてとりまとめ、他大学との合同研究会及びソーシャル・ビジネスプラン・コンテストで報告することを目指します。</p> <p>地域視察、企業視察、他大学とのプレゼンテーション大会などを行うため、時間外での活動が多く、移動費や宿泊費が発生します。</p> <p>過去の視察調査先</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島県海南町（車で9時間ほど）</li> <li>・福井県おおい町（車で8時間ほど）</li> <li>・福岡県新宮町</li> </ul> <p>過去のプレゼンテーション大会開催地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学</li> <li>・沖縄大学</li> </ul> <p>過去のテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新宮町の古民家再生</li> <li>・猫の殺処分問題解決</li> <li>・サーフィンを通じた街づくり</li> <li>・若狭地域の冬場の観光地誘客</li> <li>・福岡のインキュベーション政策調査</li> </ul> <p>団体行動が多いため、部活動やアルバイトなどで調整ができないなどの理由で参加できない学生には本ゼミナールは適していません。</p>	
<p><b>履修希望者への要望</b></p> <p>上記にある通りですが、地域視察、企業視察、他大学とのプレゼンテーション大会などを行うため、移動費や宿泊費が発生します。プレゼンテーション大会参加は3万円程度、フィールド調査は距離次第で異なります。</p> <p>団体行動が多いため、部活動やアルバイトなどで調整ができないなどの理由で参加できない学生には本ゼミナールは適していません。ゼミ活動に参加・貢献しない学生は除籍します。</p>	

<b>ゼミナール名:</b> 原ゼミナールⅠ	
<b>演習テーマ:</b> 日本経済入門	
<b>担当教員名:</b> 原 康記	<b>主な担当科目:</b> 経営史
<b>所属学系:</b> 経営管理学系	<b>所属コース:</b> 企業経営コース
<p><b>ゼミナールの紹介</b></p> <p>商学部では「商学」を学ぶのは当然ですが、その基礎として、広く経済を学ぶことは必須です。日々報じられている経済に関するニュースの真の意味を理解するには、その基礎となる経済の仕組みや専門用語を理解しておく必要があります。また、現在、起きている様々な経済現象または出来事は、偶然起きているのではなく、歴史的な出来事の積み重ねの上に起きたことであると考えられます。したがって、現在の経済をより良く理解するには、歴史的に振り返ることも必要でしょう。本ゼミでは、今の日本経済をより良く理解するための基礎を学ぶことをめざします。</p> <p>主な内容は、戦後日本経済の概略、戦後の経済復興、高度経済成長、バブル経済の時代、長期不況の時代、リーマン・ショック、ヨーロッパの財政危機、家計消費と貯蓄、雇用と失業、増加する非正規雇用、社会保障の現状、日本の人口問題・少子高齢化問題、企業の姿、日本的経営、食料問題、エネルギー問題、貿易摩擦問題、日本の財政赤字、デフレーション、日本のGDP、景気の変動と現状などです。</p> <p>ゼミの基本的な進め方は次の通りです。①発表者の順番を決める。②各発表者は、教科書の中の自分の担当箇所を熟読し、知らない用語などを辞書、事典、その他の参考図書などで調べ、教科書の文章の意味が理解できるようにする。③教科書の担当箇所を要約してその説明資料（レジュメ）を作成し、ゼミ生の人数分コピーして配布する。④説明資料に基づいて発表する。その場合、自分の意見も加える。⑤発表者以外のゼミ生は担当者に質問し、発表者はそれに答える（質疑応答する）。</p> <p>ゼミナールは一般の講義課目と異なって、期末試験はありませんが、授業への取り組み姿勢が評価の対象となります。教室での授業以外に各種のガイダンスや講演会等が開催される場合、ゼミナール活動の一環として参加することがあります。</p>	
<p><b>履修希望者への要望</b></p> <p><b>遅刻・無断欠席しないこと。遅刻は2回につき1回欠席したものとみなし、欠席が多い場合も成績評価がD(不可)となります。</b>受講態度が悪い場合（例えば、授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作をしているなどの場合）、成績評価がD（不可）となります。</p>	

<b>ゼミナール名：</b> 松尾ゼミナール I	
<b>演習テーマ： 経営学の基礎</b>	
<b>担当教員名：</b> 松尾 知也	<b>主な担当科目：</b> 経営戦略論・経営組織論
<b>所属学系：</b> 経営管理学系	<b>所属コース：</b> 企業経営コース
<p><b>ゼミナールの紹介</b></p> <p>このゼミでは、企業の事例やテキストをもとに「経営学の基礎」を学びます。また、グループワークとプレゼンテーションの基礎的な方法も学びます。意欲の高い学生は、企業とのプロジェクトに参加し、商品・サービスの企画や改善活動などに取り組みます。一年間の演習計画は次の通りです。</p> <p><b>①前期：身近なテーマについてのプレゼンテーション</b></p> <p>身近なテーマ（「関心のある観光地」など）について、グループで報告の準備をし、2回程度、プレゼンテーションを行っていただきます。人前での口頭発表と質疑応答に慣れることが目的です。</p> <p><b>②夏休み：ゼミ合宿</b>（平成31年度も実施予定）</p> <p>ゼミ合宿は2年生と3年生で計画を立てます。平成30年度は9月上旬に2泊3日で阿蘇へ行きました。合宿では、自動車部品工場を見学し、その後、事務所の入口付近の改善案を取締役や管理職の前で報告してもらいました。また、バーベキューやスポーツ、観光などをみんなで楽しみました。</p> <p><b>③後期：経営学に関する内容のプレゼンテーション</b></p> <p>経営学に関するテーマについて、2回程度、プレゼンテーションを行っていただきます。前期と同様、グループで準備をしていただきます。平成30年度は、ファーストリテイリング（ユニクロ）と東京ディズニーリゾートが成功している理由について調べ、報告してもらいました。</p> <p><b>④その他</b></p> <p>平成30年度は「中村学園大学との合同ゼミ」と「休暇村志賀島との連携プロジェクト」を実施しました（連携プロジェクトは希望者のみ）。中村学園大学との合同ゼミは、毎年7月に実施し、2年生と3年生が参加しています。休暇村志賀島との連携プロジェクトでは、現地調査や休暇村スタッフの前でのプレゼンテーション、休暇村スタッフとのグループワークなどを通じて、「地元の方々との触れ合いを重視した体験プログラム」や「3月の宿泊プラン」を企画しています。昨年度は「志賀島あまおうファミリーフェスタ」という企画を提案し、販売しました。これらは平成31年度も実施する予定です。</p>	
<p><b>履修希望者への要望</b></p> <p>ゼミは「自分の能力を高める場」「仲間と大学時代の良い思い出を作る場」にしたいと思っています。そのためには、勉強もイベントも全力で頑張るという気持ちや、ゼミや他のゼミ生のために協力しようとする気持ちが不可欠です。このような気持ちを持った学生の応募を希望します。</p> <p>なお、下記の3つの条件を満たしていることが応募の条件です。</p> <p>①ゼミでのイベント（食事会やスポーツなど）とゼミ合宿に参加できること。</p> <p>②遅刻や無断欠席をしないこと。</p> <p>③原則として、1年次前期に16単位以上修得していること。</p>	

<b>ゼミナール名： 高山ゼミナール I</b>	
<b>演習テーマ： 現代金融の諸問題について考える</b>	
<b>担当教員名： 高山浩二</b>	<b>主な担当科目： 金融論、金融政策論、金融機関論</b>
<b>所属学系： 経営管理学系</b>	<b>所属コース： ファイナンスコース</b>
<b>ゼミナールの紹介</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動目的 このゼミナールでは、1年間の活動を通じて以下の3点を目指します ① 人前で自分の考えを自分の言葉で話せるようになる ② 学生生活を充実させるため、学習を通じた人間関係を形成する ③ 経済の仕組みやお金の流れについての知識を身につけ、理解を深める</li> <li>● 活動内容 このゼミナールでは、経済・経営（できれば金融関係）に関するテーマについてグループワーク（1グループ4名）を行い、発表およびディベートを行ってまいります 〈前期〉 有価証券報告書の見方、スライドの作成方法、プレゼンの方法を身につけてまいります。具体的には、グループごとに企業を決めて調べてもらい、パワーポイントにまとめて発表してまいります 〈後期〉 西南学院大学と久留米大学のゼミナールと合同で行うディベート大会に出場します（予定）。大会後は、出場者全員で懇親会を開催（原則全員参加） →ディベートのテーマは教員が相談して決めます</li> <li>● その他の行事 ゼミ内での交流会、夏休みの合宿の実施については、メンバーのみなさんに決めてまいります。やるのであれば、原則としてメンバー全員に参加してまいります 私は、大学で自分を一番成長させることができる場所のひとつがゼミナールだと思っています。そういう場所としてこのゼミナールを選んでもらえるとうれしいです <u>（注意）無断での遅刻や欠席、「めんどい」「だるい」発言、スマホとだけお友達は厳禁です！</u></li> </ul> <p>※活動の詳細については、Facebook <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">九州産業大学商学部高山ゼミナール</span> で検索してください</p> <p>エントリーを予定している学生は、なるべくゼミナール説明会にも参加してください</p>	
<b>履修希望者への要望</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 募集人数は16名前後とします</li> <li>・ 2年生のうちに資格を取得するようにしてください。具体的には、ファイナンシャル・プランニング技能士3級（FP3級）および証券外務員Ⅱ種の取得に努めてください →可能な範囲でこれらの資格に関連する授業の履修をおすすめします</li> <li>・ できればファイナンスコースへの所属を希望し、将来的に銀行や証券会社など金融機関への就職を視野に入れている学生のエントリーを希望します</li> </ul>	

ゼミナール名： 新田町ゼミナールⅠ

演習テーマ：「良い経営」、「良い企業」、「良い銀行」について考える。

担当教員名：新田町 尚人

主な担当科目：地域金融論、経済学入門

所属学系：経営管理学系

所属コース：ファイナンスコース

### ゼミナールの紹介

過労死やブラック企業問題など、働き方の改革、働かせ方の改革が求められています。  
**「良い経営」や「良い企業」、「良い銀行」があるとすれば、それはどのようなものでしょうか。**

例えば、売上高が多ければいいのか、多くの従業員を雇ってあげればいいのか、それとも、社員への給料が高ければ、良い経営、良い企業と言えるのでしょうか。  
また、多くの種類の製品やサービスを提供すればいいのでしょうか。  
それとも、長く愛される製品を提供すればいいのでしょうか。

銀行であれば、お金を多く貸し出していることがいいことなのでしょうか。  
たくさん預金を集めていることがいいことなのでしょうか。

**経営や企業を評価するには多くの視点があり、ひとつの答えはありません。**

**しかし、自分なりの視点を持つことは、就職活動を行う上でも、また社会人として活躍するためにも、とても大切であると考えます。**

#### 【スケジュール】(予定)

- 2 年次前期：インターンシップ対策として、多くの企業の事例や働き方を学びます！  
後期：グループで「良い経営」について研究します！
- 3 年次：ファイナンス（金融）をテーマにグループで研究します！  
みずほ学術振興財団や日本銀行の懸賞論文に投稿することが目標です！
- 4 年次：卒業論文を執筆！  
卒業：目標の企業に就職！



就職希望先が金融業界でも  
金融業界でなくても歓迎します  
大切なのは「学ぶ」気持ちです！

#### 本ゼミナール担当教員の紹介

職歴：通信社の証券担当記者、食品専門新聞の記者  
経営コンサルタント（賃金制度、顧客満足度向上、研修講師）  
2016年度より九州産業大学商学部の講師

資格：証券アナリスト協会検定会員（証券アナリスト）  
経営品質協議会セルフアセッサ

#### <長所>

- ・担当講師は、大学院で経済学を、職業で経営学に関与していました。  
→**経済と経営の両方を指導できる講師は少ないと思います**（自慢①）
- ・担当講師は、多くの業界、多くの職業に対する知識が豊富です。  
多くの企業に履歴書を送り、多くの面接を受けてきました。  
前職は経営コンサルタントです。会社の内情には詳しいです（自慢②）  
→**将来の職業や就職活動について、多くのアドバイスが可能です**

#### <短所>

- ・九州産業大学に来て、2年半しか経っていません。  
→九州について、まだ知らないことが多い。知り合いも少ない。

#### 履修希望者への要望

毎回出席が基本です。話し合いに参加しない学生、スマホばかり眺めている学生はいりません。  
話し合いに参加しない学生は学期途中でも、その後のゼミ参加を認めない場合があります。  
経済や経営について、問題意識を持ってください。

ゼミナール名:

船岡ゼミナール I

演習テーマ: 日経STOCKリーグ(株式学習コンテスト)への参加を通じて

## 企業分析と株式投資の基礎を学ぶ

最優秀賞(ニューヨーク研修旅行)の獲得を目指します!

担当教員名: 船岡 健太

主な担当科目: ファイナンス入門、証券市場論

所属学系: 経営管理学系

所属コース: ファイナンスコース

今夏の株式市場では、ZOZOがボディースーツ「ゾゾスーツ」で採寸を行うオーダースーツの販売開始を公表すると、AOKIなどの紳士服大手4社の株価が急落したというニュースが注目を集めました。

このニュースに対しては、以下のような疑問を持った人が多くいたかもしれません。ZOZOのオーダースーツは株式市場では評価を受けたけれども、「ゾゾスーツ」を着るだけで、本当に正確な採寸ができるのだろうか? 人体の採寸は、非常に繊細なものであり、熟練の技術を必要とするものです。

この疑問を解決する最も良い方法は、「ゾゾスーツ」を取り寄せて、自分の体を「ゾゾスーツ」で実際に採寸してみることもかもしれません。株式投資の世界では、財務諸表分析等に加えて、「ゾゾスーツ」で実際に採寸してみるというような、企業が提供するサービスや製品を自ら体験してみることがとても大切です。

ゼミでは、財務諸表を用いた企業分析に加えて、「ゾゾスーツ」の体験などを通じて企業価値の本質に迫る取り組みを行います。このような企業分析の成果は、日本経済新聞社が主催する株式投資コンテスト「日経STOCKリーグ」に参加し、レポートとして提出します。「日経STOCKリーグ」への出場にあたっては、最優秀賞のチームに提供されるニューヨーク研修旅行の獲得を真剣に目指します。この目標に真剣に取り組める学生のみゼミに応募してください。



日経が提供してくれる左のテキストで企業分析と株式投資の基礎について勉強します

株式投資×ボクらの日常!?

STOCK FANTASY  
ボクとカノジョの未来の物語

日経STOCKリーグで養われる力

企業分析の力(職業観の醸成)

チームマネジメントやプレゼンテーションなどのスキル

企業分析、株式投資に関心があり、以下のような希望を持っている学生は当ゼミの扉をノックしてみてください。

- ゼミでは報告を積極的に行いたい
- 大学生活を充実させたい
- 勉強以外の食事会や合宿等の活動も大事にしたい
- ゼミで一生付き合える仲間づくりを行いたい
- 就職活動もしっかり行いたい

### 履修希望者への要望

ゼミ合宿や香椎祭における出店など、ゼミの行事にきちんと参加できる学生のみ、応募して下さい。留学生も歓迎します。無断欠席や遅刻に対しては厳しく対処します。

<b>ゼミナール名:</b> 牟田ゼミナール I	
<b>演習テーマ:</b> 経済に関する知識を深めよう	
<b>担当教員名:</b> 牟田 正人	<b>主な担当科目:</b> ファイナンス論
<b>所属学系:</b> 経営管理学系	<b>所属コース:</b> ファイナンスコース
<p><b>ゼミナールの紹介</b></p> <p>新聞記事や経済雑誌の記事から、トピックスになっている話題を取り上げ、</p> <p>① どういうことなのか、  ② なぜ、そうなっているのか  ③ 今後、どのような展開が見込まれるのか  などについて、皆で理解しながら進めていく。</p> <p>毎週、課題を与えるので、図書館・ネット等で調べ、各自まとめてきたものを次週のゼミで報告してもらうことで、「調べ方」・「プレゼンテーション」の学習も進める。</p> <p>平成 30 年度は、デジタル経済をメインテーマとして取り上げた。</p>	
<p><b>履修希望者への要望</b></p> <p>授業時間外の学習が重要なので、自発的な学習（特に「学」）に取り組んでみようという学生を募ります。</p>	

<b>ゼミナール名： 赤城ゼミナール I</b>	
<b>演習テーマ： 会計の基礎を学ぶ</b>	
<b>担当教員名： 赤城 諭士</b>	<b>主な担当科目：財務会計論、財務会計の基礎</b>
<b>所属学系： 経営管理学系</b>	<b>所属コース： 会計コース</b>
<p><b>ゼミナールの紹介</b></p> <p>2年生のうちは基礎学力を固めること、また、ゼミナール形式の授業に慣れることを目標とします。</p> <p>前期は、会計学の入門書を輪読しながら、会計の基礎について学んでもらう予定です。予定している本は、主人公が商売を始め、株式会社を設立し、上場するという物語仕立てになっており、そのなかで簿記・会計がどのような役割を果たしているかを描いたものです。会計以外の内容も含まれており、商学部で勉強する基礎を理解するうえでも役立つと思います。</p> <p>※ 前期に輪読予定の本：浦崎直浩編著『これから学ぶ会計学』（中央経済社）</p> <p>後期は、①財務会計の基礎についての学習、または、②財務諸表の分析を中心とした企業の経営分析、のいずれかを行う予定です。どちらの内容にするかは集まった学生の希望を尊重して決めていく予定です。なお、①の場合、財務会計の入門書を輪読するか、あるいは日商簿記検定 2 級の商業簿記のテキストを使って学習することを考えています。また、②の場合、上場企業のなかから 1 社ないし同一業界に属する 2・3 社を選んでもらい、実際に公表された財務諸表を分析することを考えています。</p> <p>最後に、要望になりますが、会計学を学ぶうえでは、株式会社についての知識も必要になります。私が担当する講義科目である「財務会計の基礎」では株式会社の仕組み、そして社会における会計の役割についても説明しますので、可能であれば併せて受講してください。</p>	
<p><b>履修希望者への要望</b></p> <p>① 簿記・会計の学習に興味を持って取り組めること。  ② 簿記については、日商簿記検定 3 級レベルの内容まで学習していることが望ましい。  ③ ゼミナールには遅刻・欠席をしないこと。  ④ ゼミナールに出席したら必ず発言をすること。  ⑤ ゼミナールの授業時間外でも発表準備等のため、学習時間を確保すること。</p>	

<b>ゼミナール名:</b> 浅川ゼミナール I	
<b>演習テーマ:</b> 商業簿記(日商簿記検定 3 級レベル)と企業分析	
<b>担当教員名:</b> 浅川 哲郎	<b>主な担当科目:</b> 管理会計の基礎、原価計算論
<b>所属学系:</b> 経営管理学系	<b>所属コース:</b> 会計コース
<p><b>ゼミナールの紹介</b></p> <p>演習概要、演習計画</p> <p>浅川ゼミナールでは税理士や公認会計士などの会計専門職をはじめ、会計を用いる金融関係や事務職を志望する学生に会計を勉強する機会を提供する。具体的に 2 年生対象のゼミナール I では、11 月の簿記検定 3 級を目指して商業簿記の学習を行う。前期はテキストを用いて基本的な仕訳を学習し、後期には過去問を用いて実践的な練習を行う。より試験に「受かりやすい」指導を行う予定である。11 月の試験の後は、トヨタ自動車や日立製作所など日本を代表する企業やハーバード大学病院など著名な医療機関の財務面を分析し、プレゼンテーションを行う機会を持つ。</p> <p>会計関係の知識を持つ学生の社会的なニーズは高く、本ゼミは 2007 年の開設以来、2017 年 3 月の卒業生までで 9 期の卒業生を輩出しているが、鳥越製粉、東芝ライテック、コマツ製作所など一流の製造業からセブンイレブン、JA、自動車ディーラーなどの流通業、更には金融機関、医療機関、事務職公務員や警察官、消防士など幅広い進路を誇っている。</p>	
	
(写真：ハーバード大)	
<p><b>履修希望者への要望</b></p> <p>11 月の日商簿記検定 3 級を受験する人を希望する。また積極的にプレゼンテーションや企業訪問に参加する学生を歓迎する。</p>	

ゼミナール名： <b>安珠希ゼミナールⅠ</b>	
演習テーマ： <b>会計リテラシーの向上</b>	
担当教員名： <b>安 珠希</b>	主な担当科目： <b>管理会計基礎、管理会計論</b>
所属学系： <b>経営管理学系</b>	所属コース： <b>会計コース</b>
<b>ゼミナールの紹介</b> <p>2年生のゼミナールでは、会計リテラシーの基礎知識を身に付けるために、前期には日商3級の取得に向けた勉強や演習を行います。応募学生のレベルに応じて日商2級と日商3級の並行進行等、多少の変更があるかもしれません。これは今後のゼミナールに必要な基礎的能力となります。</p> <p>ただし、ゼミナールの時間だけでは資格試験に合格することは難しいですので、主体的に自主学習する必要があります。ゼミナールは受動的に先生から講義を聴く時間ではありませんので、ゼミ生は自ら学修することを前提として、ゼミ時間には自習のとき理解しづらかった内容を確認します。</p> <p>後期には、各自、興味をもっている上場企業の財務諸表を分析してみることにします。同じ業種の2社を選び、有価証券報告書から財務諸表を入手して、基本的な財務諸表分析をしてみます。実際の財務データにふれることによって、より企業の中身が理解できるようになります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>財務諸表分析とは？</b></p> <p style="text-align: center;"><b>「彼を知り己をしれば、 百戦してあやうからず」</b></p> <p style="text-align: center;">(知彼知己、百戦不殆)孫子兵法の謀攻篇</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>財務諸表分析のため必要な資料は？</b></p> <p>(1)分析する会社の3年から5年分の財務諸表</p> <p>① <a href="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/">http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/</a></p> <p>②企業HP→投資家のページ→IR情報 <a href="http://toyota.jp/">http://toyota.jp/</a></p> <p>(2)分析のための外部比較基準値 :競争企業や業界平均値が必要！</p>  </div> </div>	
<b>履修希望者への要望</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日商簿記2・3級を受講する人を希望します。事前学習として簿記論および初級簿記程度の学習内容を復習し、理解しておいてください。</li> <li>・ゼミ生は学外の企業・施設の見学や学外活動などが予定された場合、必ず参加すること。</li> </ul>	



<b>ゼミナール名： 奥菌幸彦ゼミナールⅠ</b>	
<b>演習テーマ： 簿記ができるようになる</b>	
<b>担当教員名： 奥菌幸彦</b>	<b>主な担当科目：簿記論、会計学入門</b>
<b>所属学系： 経営管理学系</b>	<b>所属コース： 会計コース</b>
<p><b>ゼミナールの紹介</b></p> <p>日商簿記検定（2級程度）の問題を教材にして、会計能力、記帳能力を養成します。簿記のやり方については、もちろん、ゆっくりと丁寧にやります。将来、簿記検定に合格したい人や企業で会計関係の仕事をしたいは歓迎します。</p> <p>なお、授業はきちんと行います。現在、ゼミの履修者には次のことを守るようお願いしています。</p> <p>① 毎回、遅刻せず、きちんと授業に出席してください。遅刻・欠席は他のゼミ履修者に迷惑をかけます。</p> <p>② 指定した教科書、電卓、定規、赤の筆記具、鉛筆（シャープペンシル）、消しゴムを準備して、忘れないように持って来てください。</p> <p>③ 演習課題は、必ず全て提出してください。</p> <p>④ ちゃんとした姿勢で授業に臨んでください。</p>	
<p><b>履修希望者への要望</b></p> <p>できれば、簿記論の単位を修得済みの人たちに来て欲しいと思っています。</p>	

ゼミナール名： 金川ゼミナール I

演習テーマ： 会社の財務分析

担当教員名： 金川 一夫

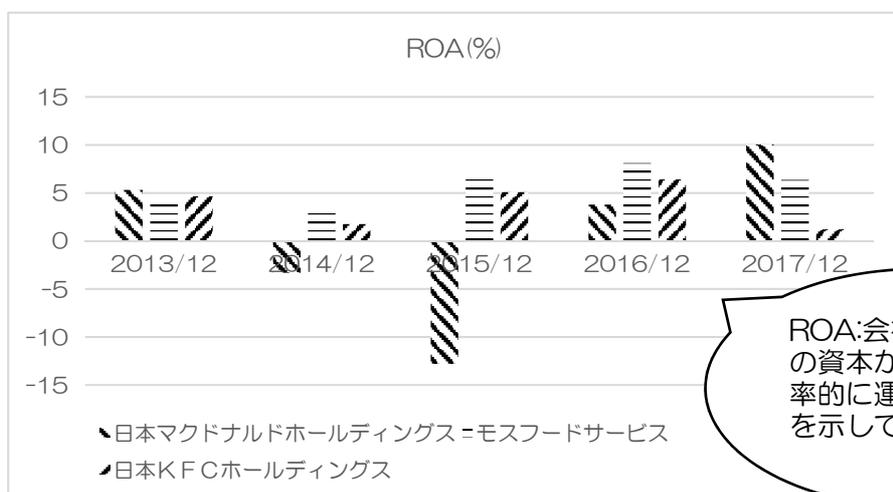
主な担当科目： 会計情報システム

所属学系： 経営管理学系

所属コース： 会計コース

### ゼミナールの紹介

- ◇ 金川ゼミでは、日本経済新聞社のデータベースから会社の会計情報を検索して、財務分析をします。
- ◇ 財務分析とは、会社の貸借対照表や損益計算書などのデータを用いて比率を求め、その結果から会社の財務体質などを判断するというものです。
- ◇ 金川ゼミでは、このような比率の求め方はもちろんのこと、その数字が意味することについても学習していきます。
- ◇ 財務分析をすれば、その会社の収益性や安全性がある程度まで分かります。
- ◇ ビジネスでは、財務諸表を読みこなす力を身に付けることは必要不可欠です。
- ◇ 大学になって習いはじめた簿記の勉強をさらに会計や財務へと進めていくためにも、この財務分析のゼミを検討してみてください。
- ◇ なお、金川ゼミは簿記の検定試験とはあまり関係がありませんが、せっかくはじめた簿記の知識を生かせるのが、この財務分析だと思います。
- ◇ 是非、金川ゼミで財務分析の知識を習得し、あなたが就職したい会社や興味のある会社の財務体質を調べてみてください。



ROA:会社のすべての資本がどれほど効率的に運用されたかを示しています

### 履修希望者への要望

- 金川ゼミでは、コンピュータを利用して会社の財務データを分析します。
- そのために、「情報リテラシー入門」と「簿記論」の成績が優秀であるような学生を希望します。

ゼミナール名： 田 中 ゼミナールⅠ

演習テーマ：財務諸表を用いて企業を分析する方法を身につける

担当教員名： 田 中 勝

主な担当科目：簿記論 会計演習 A 財務諸表分析

所属学系： 経営管理学系

所属コース： 会計コース

### ゼミナールの紹介

このゼミでは、財務諸表の読み方やそれを用いて企業の経営状況を分析する方法を学びます。基礎からじっくりと学習しましょう。将来的には、ビジネスを数字で考え、その良し悪しを数字で判断できる力を身につけてほしいです。ビジネスの世界で活躍するうえで絶対に必要な力です。

同時に、皆さんには、このゼミを通じて、一緒に学んでいく仲間をつくってほしいです。お互いに教え合い発言し合い、一つのものを作り上げていくなかで、協調性やコミュニケーション能力も身につけてほしいです。充実した人生を送るうえで絶対に必要なものです。

このゼミでは、9月上旬に3年生と一緒にゼミ合宿（2泊3日）を実施する予定です。また、後学期には近隣他大学のゼミと合同で業界・企業研究を行い、12月に発表会を実施する予定です。業界ごとに他大学の学生と横断的にチームを作り、情報交換しながら研究を進めていきます。大いに刺激を受けると思います。これらの行事には全員参加が原則です。行事への参加を最優先に考えてください。なお、ゼミ合宿や他大学訪問などにかかる費用は自己負担です。

勉強するときには勉強に集中、遊ぶときには思いっきり遊ぶ、そんなメリハリの利いた学生が集まり、アットホームな雰囲気です。



何か質問などがありましたら、オフィスアワーを問わず、気軽に研究室（1号館10階S009）を訪ねてください。

### 履修希望者への要望

- (1) 社会的で明るく、元気があること（ゼミの雰囲気を良くしてくれる人は大歓迎です）。
- (2) まじめに課題に取り組み、継続的に出席できること（遅刻や欠席が目立つ人はNGです）。
- (3) 会計に関心があり、数字力を高めたいと思っていること。
- (4) ゼミ合宿や他大学との交流に参加できること。